

第20回資金管理業務諮問委員会 議事録

1. 日時：2007年6月14日（木）15時00分～17時10分
2. 場所：財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 委員の現在数：7名
4. 出席者と人数：永田委員長、鬼沢委員、酒井委員、辰巳委員、
米澤委員、渡辺委員

以上 6名出席

その他(財)自動車リサイクル促進センター事務局、再資源化支援部（議案説明者を含む）、経済産業省・環境省担当官が出席

新日本監査法人がオブザーバーとして参加

5. 議題：①平成18年度事業報告書案、平成18年度再資源化預託金等特別会計決算報告書案、平成18年度承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計決算報告書案及び平成18年度資金管理料金特別会計決算報告書案について
②平成18年度の再資源化預託金等の運用の評価について
③平成18年度離島対策等支援事業の実施結果報告について
④平成18年度の外部業務監査結果報告について
⑤その他

6. 議事録

(1) 議題①について

平成18年度事業報告書案、平成18年度再資源化預託金等特別会計決算報告書案、平成18年度承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計決算報告書案及び平成18年度資金管理料金特別会計決算報告書案について、資料3-1から資料3-9（添付資料を含む。）を使用して事務局から説明。委員から案のとおり了承された。
委員からは以下のような意見があった。

主な質疑・意見

（注）◇は委員からの質問・意見 ◆は事務局からの回答

◇資料3-1と参考資料が関連付けられていて、資料3-1の数値は参考資料のどこにあるという記述になっていると分かりやすい。資料3-1は当局提出資料で様式が決まっており変更するのが難しいということで

あれば、資料3-1とは別に要約の資料を作成して、その資料と参考資料を関連付けるというようなことは考えられないか。

◆検討する。

◇資料3-4でASRとフロンの払渡台数が異なるのは装備率の差と考えてよいか。また、情報管理料金とASRの払渡台数が異なるのはなぜか。

◆ASRとフロンについては装備率の差であり、情報管理料金とASRについてはメーカーに払渡されることがない非認定全部利用の存在による。

(2) 議題②について

平成18年度の再資源化預託金等の運用の評価について、資料4-1及び資料4-2を使用して事務局から説明。委員から案のとおり了承された。

委員からは以下のような意見があった。

◇資料4-2の証券会社別発注状況の検証で発注が偏っている事態は生じていないとあるが、232億円と436億円では随分と差がある。偏っていないといえるのか。

◆債券を購入するにあたっては一番良い条件を提示した証券会社に発注しているが、その結果を積み上げたものが平均値の11.1%の±4%以内に収まっているということであり、偏っているとはいえないと判断している。

(3) 議題③について

平成18年度離島対策等支援事業の実施結果報告について、資料5(添付資料を含む。)を使用して再資源化支援部から説明。委員から案のとおり了承された。

委員からは以下のような意見があった。

◇資料5の「2. 不法投棄等対策支援事業」で実施調整中とある2件はどのような案件か。

◆1件は軽自動車を含め約400台程度で、有価物が撤去され廃車ガラ状態で放置されているもの。事業の実施が決まり今後日程を詰めていくことになる。他の1件は大型バスを含む30台余で、市が予算を組んで今年度末には実施予定となっている。

- ◇資料５の「２．不法投棄等対策支援事業」の平成１８年度に実施した現地調査についてフォローしているか。
- ◆フォローしており、本事業を使用せず路上放置車両引取システムを使用する等の事態を把握している。
- ◇資料５別紙１の展開済み好事例中の「市町村による輸送単価低減の事例」とは具体的にどのようなものか。
- ◆ホームページにも掲載してあるが、三重県鳥羽市で、海運業者と住民の個別交渉に委ねていたものを、市が海運業者と協定を結んで、本事業を強力に推進したという例である。

(４) 議題④について

平成１８年度の外部業務監査結果報告について、資料６－１から資料６－３を使用して事務局から説明。委員から案のとおり了承された。

以上